

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
1-1-1	総量削減計画の 着実な実施	総量削減計画の着実な実施			環境省 国土交通省 農林水産省 埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県 横浜市、川崎市 千葉市、さいたま市	平成15年度から 継続実施
1-1-1	総量削減計画の 着実な実施	・第6次水質総量規制の在り方について、中央環境審 議会長から答申を受ける予定。 ・第6次水質総量削減基本方針策定 ・総量規制基準設定方法の検討を行う	-		環境省 水環境部	
1-1-1	総量削減計画の 着実な実施	総量削減計画に基づき、 ・規制対象事業場(680事業場)への立入指導 ・自主測定結果の報告徴収及び取りまとめ ・県内の負荷量算定業務 を実施	7.0		埼玉県 環境部	平成15年度から 継続実施
1-1-1	総量削減計画の 着実な実施	★規制対象事業場への立入指導、自主測定結果の 報告徴収及び取りまとめを実施	-		千葉市 環境局	平成15年度から 継続実施
1-1-1	総量削減計画の 着実な実施	水質汚濁対策事業により、陸域負荷削減策(水質総 量規制)に係る事務を実施	-		さいたま市 環境経済局	平成15年度から 継続実施
1-1-2	効率的な事業施策の実 施	下水道事業における排出枠取引制度に関する調査を 実施	9		国土交通省 下水道部	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★下水道の整備を促進するとともに高度処理の導入 を推進	341,723 の内数		国土交通省 下水道部	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	下水道の整備	24,885		埼玉県 都市整備部	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★荒川処理センター、荒川右岸終末処理場、中川終 末処理場、毛呂山処理センターにおいて高度処理施 設の整備を実施	12,231		埼玉県 都市整備部	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★関連流域下水道整備(県事業分) (高度処理整備を含む)	5,302		千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★関連公共下水道整備 (千葉県等関連市町村事業分) (高度処理整備を含む)	44,157		千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★砂町水再生センターや八王子水再生センターなど に高度処理施設の建設を実施	2,644		東京都 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★下水の高度処理の導入(金沢下水処理場)	未確定		横浜市 環境創造局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★汚水未整備地区整備	451		川崎市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★高度処理施設を導入 入江崎水処理センター(西系) 等々力水処理センター	3,060		川崎市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★下水道普及率96.0%を目標に整備を推進 ★南部浄化センターで高度処理施設の増設を 実施(17年度末で日量132,500m3完成)	5,743		千葉市 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-2-1	下水道	★約190haの下水道(汚水)整備を実施し、約20,000人 下水道処理人口の増加を図る	5,828		さいたま市 建設局	平成15年度から 継続実施
1-2-2	農業集落排水施設	農業集落排水施設の整備を24箇所まで推進 (16年度までに94箇所完了)	4,242		農林水産省 農村振興局	平成15年度から 継続実施
1-2-3	浄化槽	市町村が主体となって浄化槽の整備・維持管理を行う 事業等を積極的に活用し、浄化槽の整備を推進	26,429 の内数		環境省 廃棄物・リサイクル対策	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
1-2-3	浄化槽	生活排水対策を進めるため、浄化槽について市町村が行う補助に対して助成を実施 ① 単独処理から合併処理浄化槽への転換 66市町村、557基 ② 高度処理型浄化槽の設置 66市町村、24基	115.5		埼玉県環境部	平成15年度から継続実施
1-2-3	浄化槽	平成16年度と同様に、生活排水対策を進めるため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合に、市町村が行う補助に対して助成を実施 16市町村270基を予定	17.69		千葉県環境生活部	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★合流式下水道の改善を実施	341,723の内数(再掲)		国土交通省下水道部	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	合流式下水道の改善を実施	316		埼玉県都市整備部	
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★処理場やポンプ所に雨水貯留施設の整備を実施	6,102		東京都下水道局	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★雨水滞水池の建設による合流式下水道の改善(神奈川下水処理場雨水滞水池) ★沈砂池のドライ化(桜木ポンプ場)	未確定		横浜市環境創造局	平成15年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★雨天時における流出負荷削減のため、自然吐口にスクリーン設置	315		川崎市建設局	平成16年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★北部第2貯留管・稲毛黒砂貯留管の整備を実施 ★中央雨水ポンプ場雨水滞水池の工事に着手	799		千葉市下水道局	
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★別所3号幹線と大門・浅間6号幹線の整備を実施	2,799		さいたま市建設局	平成16年度から継続実施
1-3	雨天時における流出負荷の削減	★雨天時における流出負荷削減のため、自然吐口にろ過スクリーンを設置	278		さいたま市建設局	新規
1-4	河川の浄化対策	★河川における有機汚濁負荷対策として、河川浄化施設の整備、浚渫等を実施 ★湿地や干潟の再生事業を実施	39,827の内数		国土交通省河川局	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県の民有林において、水質の浄化等に資するため、間伐等の適切な森林整備を計画的に実施するとともに、育成複層林の造成を行うなど、多様で健全な森林の整備を実施(森林整備事業)	1,215		林野庁森林整備部	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県の民有林において、水源のかん養や土砂の流出・崩壊の防止等森林の有する公益的機能の持続的発揮を図るため、必要な森林を保安林に指定し、その適切な保全を図るとともに、荒廃地の復旧整備や機能の低下した保安林の整備等を実施(治山事業)	3,411		林野庁森林整備部	平成15年度から継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県における国有林において、森林の有する国土保全や水源かん養の機能発揮のための更新・保育、間伐等を実施	187		林野庁国有林野部	平成15年度から継続実施
1-5-2	貯留、浸透施設の設置	貯留浸透施設の設置 浸透枮 90個	13.2		千葉市下水道局	平成15年度から継続実施
1-6	浮遊ゴミ等の回収	中川の支流である綾瀬川で、河川浄化対策の一環として、市民とともに清掃活動を実施 ゴミ回収量960Kg	0.34		さいたま市環境経済局	平成15年度から継続実施
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を効果的に推進	★海水が汚染されヘッドロ等の堆積した東京湾の東京港において、公害の原因となる堆積汚泥の浚渫、並びに千葉港において、現況調査を実施 (実施機関:東京都港湾局、千葉県県土整備部)	192		国土交通省港湾局	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を効果的に推進	千葉港の航路・泊地において公害の原因となる堆積汚泥の現況調査を実施	30		千葉県 県土整備部	平成15年度から継続実施(H18年度調査完了予定)
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を効果的に推進	汚泥浚渫事業として、東京港運河水域の底泥の除去を江東地区と芝浦地区で実施予定	162		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	東京湾内海域を浮遊するゴミ・油を1隻の油回収兼清掃船で回収を実施	189		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	東京湾内海域を浮遊するゴミ・油を1隻の油回収兼清掃船で回収を実施	128		千葉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	東京港港湾区域内(一部を除く)を6隻の清掃船で海面清掃予定	211		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	横浜港港湾区域内の浮遊ゴミを7隻の清掃船で回収	155.5		横浜市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	川崎港における浮遊ゴミ回収などの海面清掃を2隻の清掃船で実施(平日1回以上)	45		川崎市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等による清掃活動	城南島海浜公園は地元企業、ボランティア等が参加した海浜清掃を年1回予定し、お台場海浜公園は関連機関、地元企業及び住民等が参加した海浜清掃を年	-		東京都 港湾局	平成15年度から継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等による清掃活動	市民団体による山下公園前の海底清掃活動と協働し、海底ゴミの回収を推進	0.2		横浜市 港湾局	平成15年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	保全可能な干潟等の選定について、検討を実施	3		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東京湾奥部において、航路浚渫等により発生する土砂を活用した覆砂等による干潟、浅場の造成を実施	345		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東扇島東緑地において平常時には、人工海浜等の親水機能を有する緑地を国直轄事業により整備	700		国土交通省 港湾局 川崎市 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	ネットワーク化について、検討を実施	2		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	港湾における生物生息環境等の水辺環境の形成に向けた検討を推進	-		横浜市 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	千葉港葛南中央地区において、岸壁改良時に生物付着基盤となる附帯施設の設置を実施	430		国土交通省 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	(2-2-1掲載分の再掲) 東扇島東緑地において平常時には、人工海浜等の親水機能を有する緑地を国直轄事業により整備	700 (再掲)		国土交通省 港湾局 川崎市 港湾局	平成16年度から継続実施
2-2-3	深掘跡の埋め戻し	海上工事により発生した良質な土砂の、深掘跡への埋め戻しを実施	-		千葉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	35 の内数		環境省 水環境部	平成15年度から継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	【貧酸素水塊発生機構解明調査】 千葉航路先端にて、DOの連続測定及び周辺定点観測を実施(5~10月)	20		環境省 水環境部	
3-1-1	底層のDO及び底生生物	さらに、漁場監視調査体制を強化するため、引き続き生物モニタリング調査等(底生生物等)に対する補助事業「漁場環境モニタリング調査」(東京都、千葉県)	13.5		水産庁 増殖推進部 漁港漁場整備部	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
3-1-1	底層のDO及び底生生物	水質測定計画に基づき、東京湾の水質調査を実施。 DOは表層と底層で実施 東京湾内湾 18地点* 12回/年 * 千葉市 3地点及び船橋市 2地点を除く 県実施分のみ 東京湾内房 3地点 12回/年 6地点 6回/年	40		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	水質汚濁防止法に基づき環境基準点の、表層・底層のDOを毎月、底生生物については、年2回調査を実施	25 (水質測定調査(海域)の一部を使用している。)		東京都 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを予定	4.3		東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	DOについて、測定計画に基づき5地点で、毎月1日1回上下層で、採水・分析を実施	-		神奈川県 環境農政部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	★DOについて、測定計画に基づき7地点で、毎月1日1回上下層で、採水・分析を実施	-		横浜市 環境創造局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	15年度に実施した調査結果の取りまとめ	-		横浜市 環境創造局	平成16年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	DOについては測定計画に基づき6地点で毎月1日1回上下層で採水、分析を実施。 底生生物については6地点を毎年2地点ずつ、3年間でローリングし調査を実施	-		川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	★アピールポイント周辺の2地点で底層のDOを月1回実施	-		千葉市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	モニタリングポストでの海潮流及び水質のモニタリングを実施	5.2		海上保安庁 海洋情報部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	油回収兼清掃船により、東京湾奥部の6地点の定点において、水質の観測を実施	2-1-2の内数		国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	35 の内数 (再掲)		環境省 水環境部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	さらに、漁場監視調査体制を強化するため、引き続き水質調査等(気象、海象、水温、pH、水色、DO、塩分等)に対する補助事業「漁場環境モニタリング調査」(東京都、千葉県)を実施	13.5 (再掲)		水産庁 増殖推進部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 水質測定計画に基づき、東京湾の水質調査を実施。 DOは表層と底層で実施 東京湾内湾 18地点* 12回/年 * 千葉市 3地点及び船橋市 2地点を除く 県実施分のみ 東京湾内房 3地点 12回/年 6地点 6回/年	40 (再掲)		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2 (再掲)		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	お台場・城南島・葛西・大井ふ頭中央・若洲・東海ふ頭の6海上公園において、水質・毒貝調査を実施	4.3 (再掲)		東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを予定	4.3 (再掲)		東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	川崎港内の水質測定局(1ヶ所)によりCOD等6項目の水質のモニタリングを実施	-		川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	(3-1-1の再掲) 【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	35 の内数 (再掲)		環境省 水環境部	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	(3-1-1の再掲) 環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2 (再掲)		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	多摩川河口干潟の生物、底質の調査を実施	-		川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-4	生物	(3-1-1の再掲) 東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを予定	4.3 (再掲)		東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-4	生物	(3-1-3の再掲) 多摩川河口干潟の生物、底質の調査を実施	-		川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-5	赤潮・青潮の発生状況の把握	赤潮青潮調査としてDO測定等を8地点について月1～2回実施 青潮は発見ごとに状況調査を実施	船舶維持関連 11		千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-5	赤潮・青潮の発生状況の把握	人工衛星により赤潮等の挙動をリアルタイムで把握するシステムの運用を実施	11.6		海上保安庁 海洋情報部	平成16年度から 継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	モニタリングデータ及び人工衛星による赤潮等のデータのwebサイトでの発信	5.2の内数		海上保安庁 海洋情報部	平成16年度から 継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	環境情報を集約し、情報の共有・発信のためにインターネット上のWebサイトで東京湾環境情報センターとしてデータの公開及び共有を実施。さらに利用促進に向けたPRを実施。	-		国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施 平成16年度に完了し、今後はPR促進に向けた実施を行う
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質環境総合管理情報システムの東京湾サイト(WOTB)においてGISを活用して東京湾の水環境に関する情報を視覚的に提供	11		環境省 水環境部	平成16年度から 継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質データについての相互間のリンクを継続	-		横浜市 環境創造局	平成15年度から 継続実施
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	★漂着ゴミ分類調査をお台場、千葉稲毛海岸等で実施し、調査結果を漂着ゴミマップとして取りまとめ公表	-		海上保安庁 警備救難部	平成15年度から 継続実施
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	海洋環境保全教室、講習会を開催	-		海上保安庁 警備救難部	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成17年度）

参考資料2-2

施策番号	項目	平成17年度実施予定施策	予算(百万円)	平成17年度実施施策	実施機関	コメント
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	自然体験活動(干潟観察会)を開催	-		国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	「未来に残そう青い海ボランティアチーム」のメンバーと協力して指導啓発活動を実施	-		海上保安庁 警備救難部	平成15年度から 継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	海守会員に対して漂着ゴミ調査等の活動への積極的な参加の呼びかけ	-		海上保安庁 警備救難部	
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	環境修復・創造に向けた環境NGOのパートナーシップの形成のための地域フォーラムの開催	未定		財団法人国際エメックス センター	平成15年度から 継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	市民参加による海辺の体験活動や調査・研究などを支援するため、環境改善に向けた啓発活動を展開する場として施設を一般へ開放	-		国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
4-1	お台場における水質浄化実験	★平成16年度に引き続き、海域浄化実験を春から秋にかけて約200日行う予定	66 (実験に伴う浄化プラント運転、維持管理費用及び水質調		東京都 下水道局 環境局 港湾局	平成15年度から 継続実施
4-2	定期フェリーによるモニタリング	東京湾フェリーに設置されている流れ・水質・気象測定装置を用いて東京湾口の環境モニタリングを連続的に実施するとともに、東京湾口における流れや水質の特徴を統計的にとりまとめる(東京湾ベイトゥルー	29		国土交通省 港湾局 <<独>港空研へ委託>	平成15年度から 継続実施
4-3	海洋短波レーダーによる観測	Hフレーターモニタリングシステムのシステム改良と同システムに基づく東京湾での観測結果の公開及び新型レーダーの精度検証を実施。	44		国土交通省港湾局 国土総合技術研究所	
4-4	海外との交流	「天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)」の枠のもと、「沿岸環境科学技術専門部会(CESTパネル)」を米国で開催し、東京湾と米国の代表湾との比較研究を含む日米の閉鎖性海域における環境保全等の技術的課題等に関する情報交換を行う予定 <日本事務局・(独)港空研> また、「東京湾シンポジウム」については、6月に開催	未確定		国土交通省 港湾局 (国総研)	CESTパネルは 2,3年に1度日 本、米国の交互で 開催 東京湾 シンポジウムは H13年度から実施